

「全鍍連」 2022年 6月号 理事長のよこがお

静岡県鍍金工業組合 山田 喜康 (株)山田)

「好きなこと その後」

「はままつは 出世城なり 初松魚」

浜松出身で、明治・大正時代に活躍した俳人、松島十湖の詠んだ句です。浜松城は 1570 年、徳川家康公が 29 歳の時に築城され、以来 45 歳までの 17 年間居城しました。この間、姉川の合戦、三方ヶ原の合戦、長篠の合戦、高天神城の合戦、小牧・長久手の合戦と、家康公の天下取りの人生で最も大切な時代を過ごした地となりました。家康公の後、幕末までに 25 代の城主が居ましたが、幕府の要職に水野忠邦を初め老中 5 人、大阪城代 2 人、京都所司代 2 人、寺社奉行 4 人が就いています。このようなことから、浜松城は出世城と呼ばれています。浜松＝出世の構図は引き継がれ、今でも大手上場企業の浜松地区の支社長・支店長の人たちは、かなりの割合で出世しています。

楽器がベースのヤマハさん・河合さん、バイクがベースのヤマハ発動機さん・スズキさん・ホンダさん、光の浜松ホトニクスさん、そして電子のローランドさん。ライバル同士が本社を構え(ホンダさんを除く)切磋琢磨し、また世界にユニークな製品を提供する企業が成長し続ける“ものづくり”の出世城でもあります(≠取引先が儲かる!?)。

また浜松は、NHK 大河ドラマでも取り上げられています。2017 年『女城主直虎』、2019 年『いだてん～東京オリムピック噺』(日本水泳の礎と呼ばれる田畑政治氏が、高校の大先輩)、そして来年の『どうする家康』、浜松を身近に感じてくださいね。

浜松は工業のみならず農林水産業とも出荷高は全国でも上位に位置し、“全国一”もたくさんあります。風光明媚、気候温暖、食事もおいしく、周りには数多くのゴルフ場。住人は、言葉は少々荒いが「やらまいか」精神(方言で「やってみよう」「やってやろうじゃないか」を意味し、新しいことに果敢にチャレンジする精神を表し、これを合い言葉に、世界を代表する企業が創立、発展してきました)に富み、人情に厚い。航空自衛隊浜松広報館(零戦あります)、楽器博物館(世界でも珍しい)、縄文遺跡…観光名所もたくさんあります。皆様、是非浜松へお越しください。

あれっ、前置きが超長くなってしまいました。

およそ 2 年前のこの欄に掲載して頂き、「私の好きなこと」というテーマで、バイクと通信教育のことを書きました。今回はその後のご報告です。125cc のバイクは、掲載後の 9 月に入手できました。マフラーを社外品に交換したりパーツを取り付



けたりして、結局バイクと同じくらいのお金をかけてしまいました。同業の社長さんと、月 1 回のツーリングを楽しんでいます。大型バイク時代よりも周りの景色を楽しむことができ、何よりお昼にはお湯を沸かしてラーメンや食後のコーヒーを楽しんでいます。こう書くとさも私がやっているように見えますが、“私、食べる人”で、相棒に任せきりです。浜松や近郊には家康公にまつわる場所が数多く存在しますので、これからはバイクで回ってみようかと思えます。

もう一つの通信教育の件、あれからコロナ感染が続いており、卒論のフィールドワークができていません。という(言い)訳で今年も留年してしまいました。まるで留年を楽しんでいるよう…しかし、学芸員の資格を取ろうと頑張っ!!??います。卒業は当分先になりそうです。